

<https://peduliwni.kemlu.go.id/beranda.html>

## インドネシアのWEBSITEの活用について



インドネシア人を日本の「特定技能（SSW）」として紹介・受入れする場合、インドネシア政府の公式システムである [PEDULI WNI（インドネシア外務省）](#) での登録・認証作業が関係します。特に、インドネシア国外から新規で人材を呼ぶ場合は重要です。

2026/5/15

カンプージャパン 土井裕文 博士（工学）

Copyright© カンプージャパン All rights Reserved

## INDEX

### 特定技能紹介時に必要な主な作業

1. 日本側受入れ企業の準備
2. Job Order（求人情報）の登録
3. インドネシア政府認証（重要）
4. 雇用契約のLegalization（合法化）
5. 候補者のPEDULI WNI登録
6. COE（在留資格認定証明書）申請
7. ビザ申請
8. 入国後の対応

### 実際の登録画面で何を入力するか

（PEDULI WNI） [PEDULI WNI公式](#)

主にインドネシア側P3MIが操作します。

- A) 求人情報（Job Order）
- B) 雇用契約情報
- C) 候補者情報

### 日本側が準備する書類一覧

- ① 基本書類
- ② 本人関係

## 1. 日本側受入れ企業の準備

まず日本側で以下を整えます。

- 特定技能の受入れ分野確認
- 雇用条件作成
- 支援計画作成
- 登録支援機関との契約（必要時）
- 求人票（Job Order）作成

ここで作成する求人内容が、後でPEDULI WNIに登録されます。

## 2. Job Order（求人情報）の登録

PEDULI WNIには、

- 「Job Order Verification」
- 「Legalization of Employment Contract」

という機能があります。

つまり、

- 日本企業の求人内容
- 雇用条件
- 労働契約

をインドネシア政府側へ提出・認証する流れです。

通常は、

送り出し機関（P3MI）またはインドネシア側パートナーが入力します。

### 3. インドネシア政府認証（重要）

インドネシアは「政府管理型」に近い運用です。

そのため、

- 無許可募集
  - 個人ブローカー
  - 未登録案件
- は問題になります。

インドネシア政府へ、

- 求人内容
  - 労働条件
  - 給与
  - 勤務地
  - 受入企業情報
- を登録し、確認を受けます。

### 4. 雇用契約のLegalization（合法化）

PEDULI WNI上で、

- 労働契約書
- 候補者情報

をアップロードし、  
インドネシア政府の「合法化（Legalization）」を受けます。

ここは非常に重要で、

- 「契約条件がインドネシア法に適合しているか」
- を見られます。

## 5. 候補者のPEDULI WNI登録

候補者本人も、

- パスポート
- メール

個人情報を登録します。

特定技能では、  
日本入国後もPEDULI WNIで在留状態確認が行われます。

画面上にも、

- SSW(Specified Skilled Worker)  
の表示があります。

## 6. COE（在留資格認定証明書）申請

日本側で、出入国在留管理庁へ申請します。

必要書類例：

- 雇用契約書
- 支援計画
- 協議確認書
- 分野協議会関連書類

インドネシア政府認証済み契約など。

## 7. ビザ申請

COE取得後、  
在インドネシア日本国大使館  
または領事館で査証申請。

## 8. 入国後の対応

入国後は、

- 住居
- 銀行
- 携帯
- 役所
- 日本語支援
- 定期面談

など、特定技能の支援義務があります。

## 運用上の重要注意事項

### インドネシア側送り出し機関（P3MI）の選定

ここが非常に重要です。

無登録機関を使うと、

- ビザ遅延
- 認証拒否
- 出国停止

が起きます。

### 現在よくある実務形態

#### □ パターンA

日本企業



登録支援機関



インドネシア送り出し機関（P3MI）



PEDULI WNI登録

#### □ パターンB

日本企業が直接管理



現地パートナーのみ使用



PEDULI WNI登録

## 造船の場合のアドバイス

造船・溶接系は、

- 技能実習→特定技能移行
- 現地採用型SSW

が増えています。

そのため、

- 技能試験合格確認
- 日本語試験
- 溶接資格
- 安全教育
- 契約内容の整合

を事前に揃えるとスムーズです。

## 実際の登録画面で何を入力するか（PEDULI WNI）

### A) 求人情報（Job Order）

	項目	内容（入力例）	備考
1	受入企業名	日本法人名	
2	会社住所	日本住所	
3	業種	造船・溶接など	
4	職種	溶接工、組立工等	
5	勤務地	今治、玉野など	
6	人数	募集人数	
7	給与	基本給・残業	
8	労働時間	シフト等	
9	寮情報	有無、費用	
10	保険	社保加入	
11	契約期間	1年等	

## 実際の登録画面で何を入力するか（PEDULI WNI）

### B) 雇用契約情報

	項目	内容（入力例）	備考
1	契約開始日	入国予定	
2	契約終了日	更新条件	
3	休日	年間休日	
4	控除	寮費等	
5	残業条件	割増含む	
6	帰国費用	負担者	
7	技能区分	特定技能1号	
8			

## 実際の登録画面で何を入力するか（PEDULI WNI）

### C) 候補者情報

	項目	内容（入力例）	備考
1	氏名	パスポート一致	
2	パスポート番号	有効期限含む	
3	生年月日	生年月日	
4	住所	インドネシアの住所	
5	電話番号		
6	技能試験番号	SSW試験	
7	日本語試験	JLPT/JFT	
8			

## 日本側が準備する書類一覧

### ① 基本書類

	書類	用途	作成者
1	雇用契約書	政府認証	受入企業
2	労働条件通知書	条件確認	受入企業
3	会社登記簿	企業確認	全部事項証明書（誰でも取得可能）
4	決算書	経営安定性	一般公開情報を取得可能
5	会社案内	事業内容	HP
6	支援計画書	特定技能義務	受入企業又は登録支援機関
7	協議確認書※	分野協議会	受入企業
8	求人票	P3MI説明用	受入企業
9			

※「協議確認書」は、特定技能制度で各業界ごとに設けられている「分野別協議会」に対して、受入企業が制度ルールを守り、協議会へ必要協力をしますという確認をする書類です。

特定技能は、単に外国人を雇う制度ではなく、各産業分野ごとに国が管理しています。そのため、造船なら国土交通省管轄の「造船・船用工業分野協議会」との関係が発生します。

簡単に言うと、「協議会ルールを守ります」という誓約書です。

通常は、  
・会社情報 ・受入人数 ・分野  
・代表者  
などを書きます。

## 日本側が準備する書類一覧

### ② 本人関係

	書類	用途	作成者:全て本人
1	パスポート	本人確認	
2	技能試験合格証	SSW要件	
3	日本語試験証	JFT/JLPT	
4	履歴書	経歴確認	
5	技能実習修了証	移行時	
6			

## 造船・溶接系で必要になる実務ポイント

### A) 溶接資格整合 B) 日本側安全教育 C) 日本語ギャップ

日本側がよく困る点：

- 半自動溶接経験
  - TIG経験
  - 被覆棒経験
- が曖昧。

事前に、

- 使用機械
- ワイヤ径
- 姿勢
- 材質

を整理した方が良いです。

造船は危険度が高いです

最低限：

- 玉掛け
- 酸欠
- 高所
- 火気
- グライNDER
- クレーン合図

の教育体系を作ると安定します。

現場では、

- 「危ない」
- 「止める」
- 「火」
- 「落ちる」

の即時理解が重要。

一般日本語より、  
現場日本語辞典  
を作る方が実務的です。